



移動体向けエッジAIデジタルツインを実現する Cyber Brain Edge AI Module

(株)テクノアクセルネットワークス

プロジェクト概要

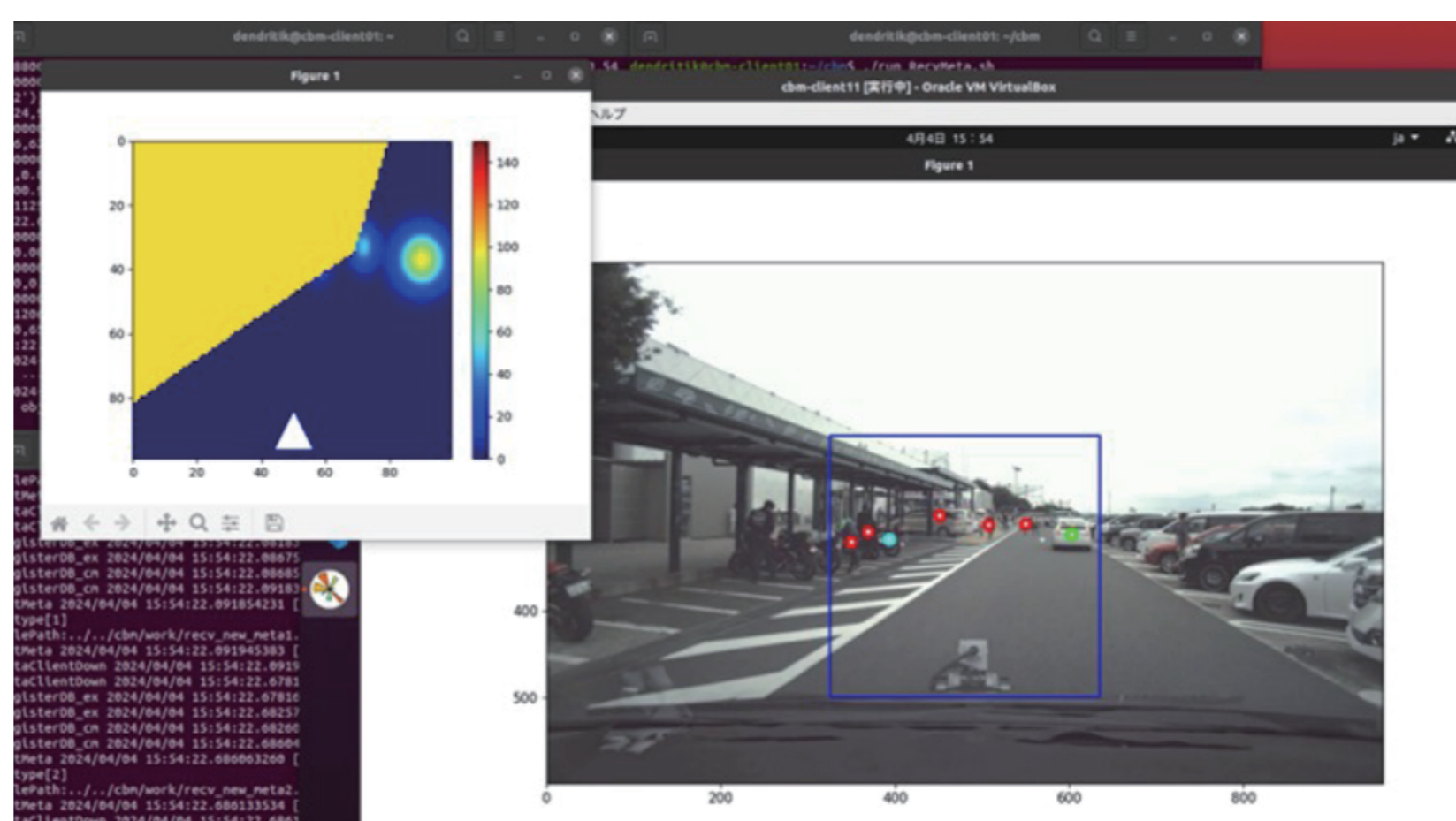
世界に先駆けて、端末が収集した大容量実データを端末にて低遅延かつ低消費電力で、分散処理およびデータ共有可能とする技術(CBEAM)を開発しました。キー技術はAIの階層化、分散化、分散データ共有、および端末処理低遅延化で、端末処理消費電力が半減、クラウド集中方式に比べ、データ転送量削減によりトータルの消費電力と処理遅延も削減することができました。

展示物紹介

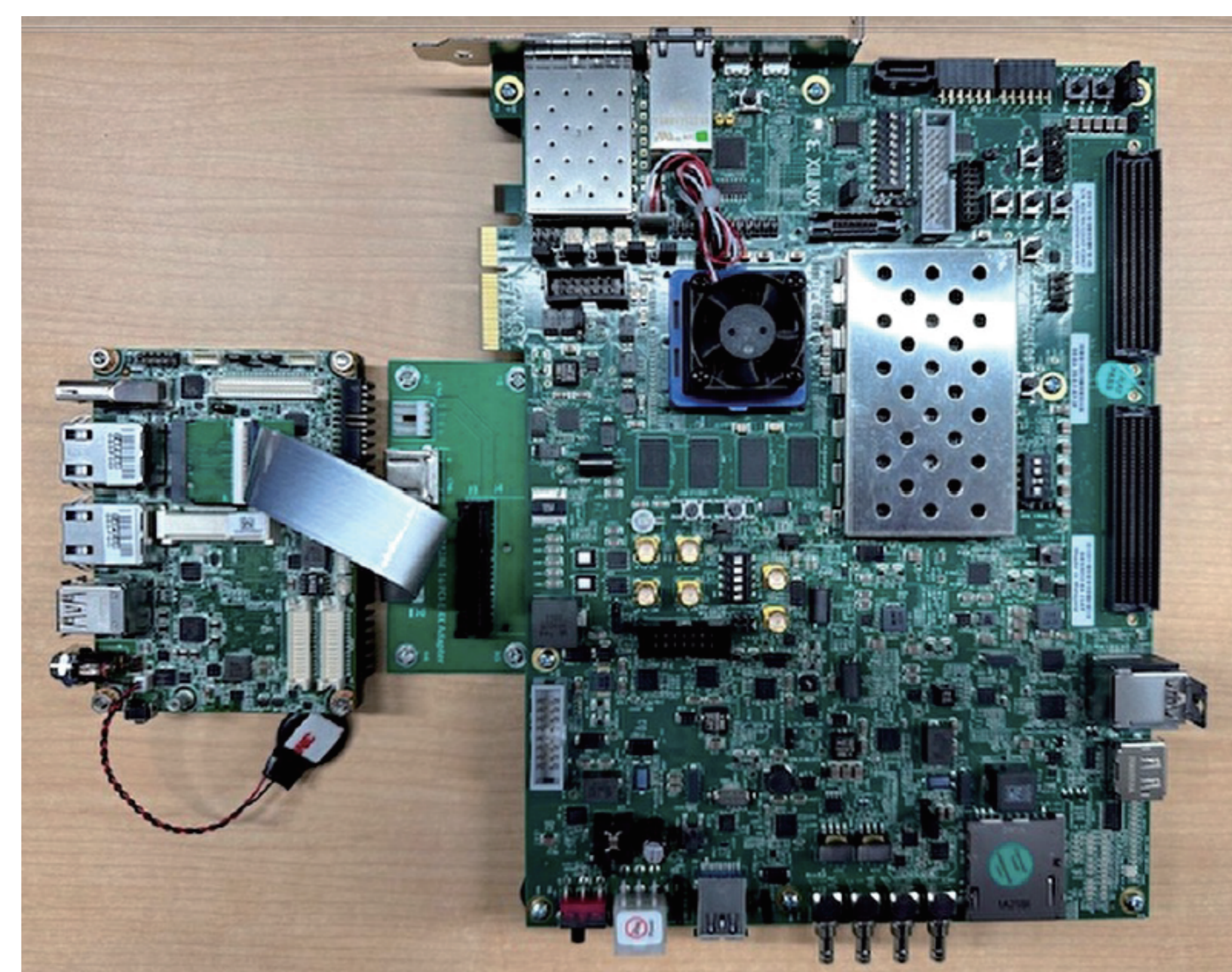
- CBEAM実装例
CBEAM(階層化AI、分散階層型DB)を
i.mx8マイコンとZYNQ ZCU106に実装

- CBEAMを用いたエッジ
AIデジタルツイン
試作品体験デモ

- 2台のPC;2台の端末
- 1台のPC;中継サーバ



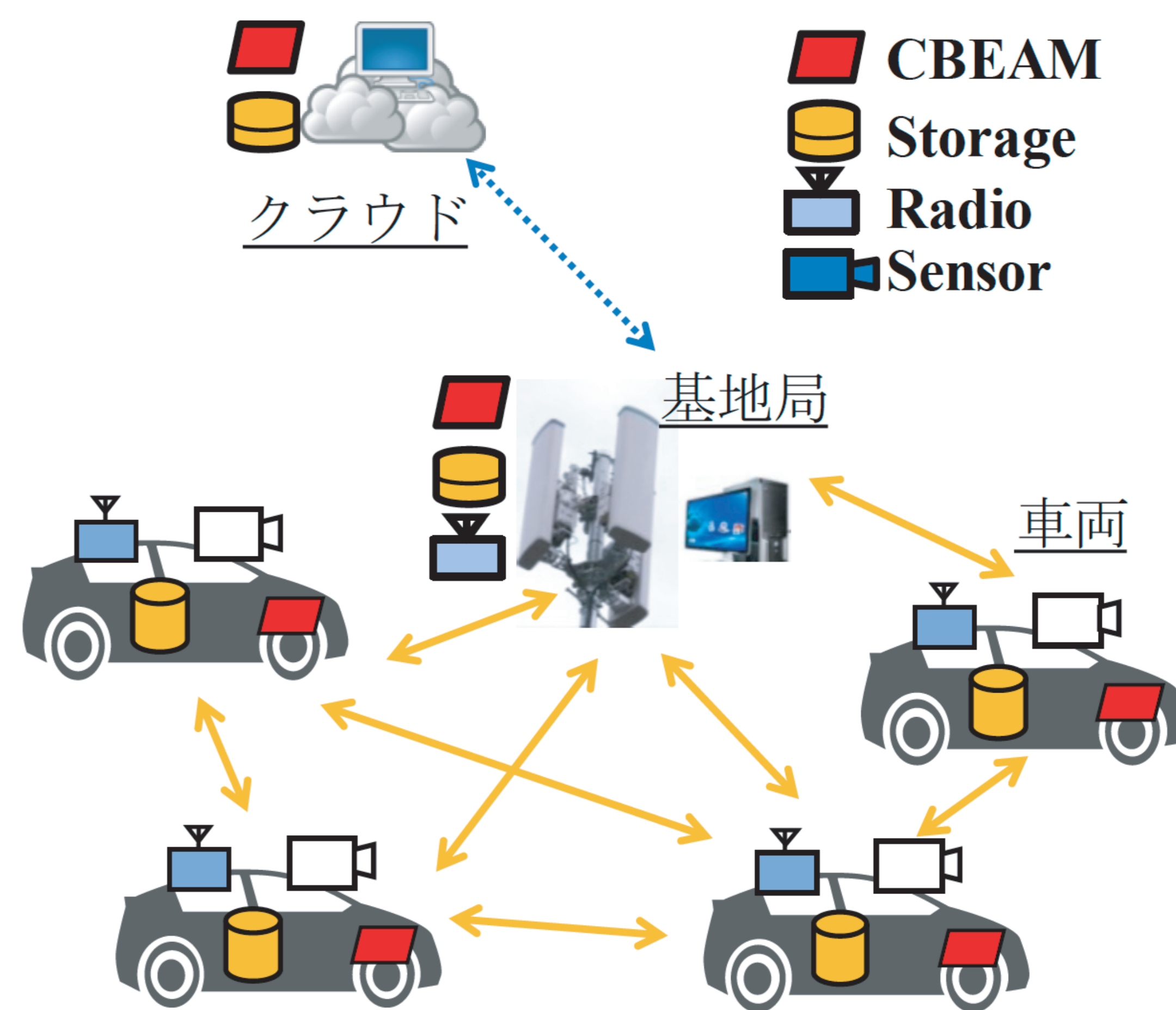
試作品体験デモ



CBEAM(i.mx8 & ZYNQ106)

社会実装イメージ

- 自動運転用ダイナミックマップデータ収集配信
- 次世代コネクティッドカーサービス
- 自走配送見守りロボット
- ドローン(農業、建築現場など)



社会実装イメージ;次世代コネクティッドカーサービス※
※AIによるメタ化を用いて、端末間におけるデータ処理システムプロセスの消費電力半減と低遅延化を実現します。

プロジェクト実施期間	2022年度~2024年度
NEDOプロジェクト名	ポスト5G情報通信システム基盤強化研究開発事業/ポスト5G情報通信システムの開発/ エッジセントリック分散階層型データベースプライマリ・AIセカンダリコンピュータの開発 ~サイバーブレインモジュール開発~
お問い合わせ先	株式会社テクノアクセルネットワークス https:technoaccel.com Email: Info.biz@technoaccel.com